

2016年

5月▶6月の星空



この図は

5/ 1 ▶ 夜22時

5/15 ▶ 夜21時

6/ 1 ▶ 夜20時

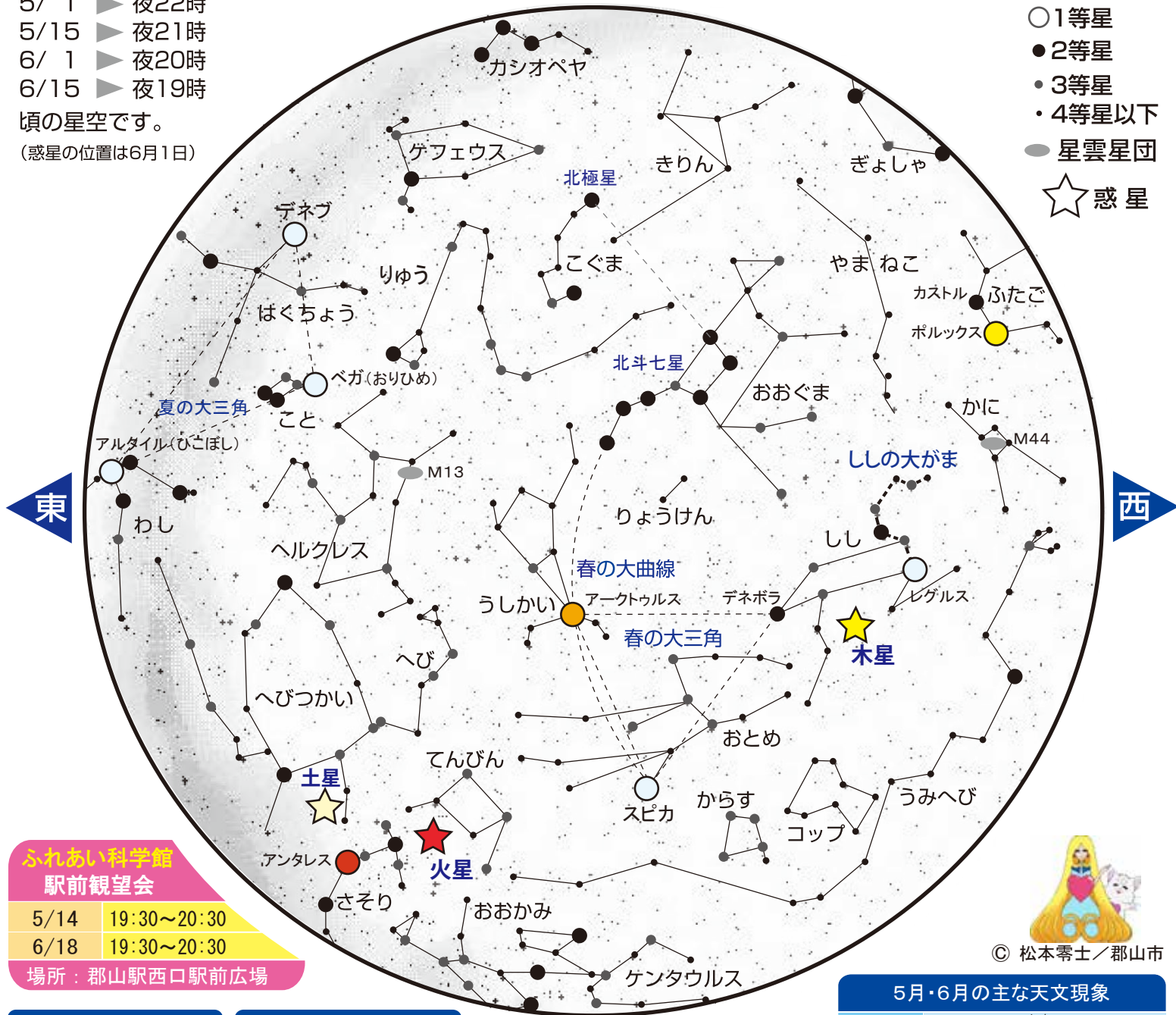
6/15 ▶ 夜19時

頃の星空です。

(惑星の位置は6月1日)

北

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆ 惑星

ふれあい科学館
駅前観望会

5/14 19:30~20:30

6/18 19:30~20:30

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士／郡山市

5月・6月の主な天文現象

5/ 6	みずがめ座 ^{イータ} η 流星群が極大
5/31	火星が地球に最接近
6/ 3	土星が衝
6/21	夏至

郡山の日の出・日の入

月の満ち欠け

5/ 1	4:49	18:29	新月	5/ 7, 6/ 5
5/15	4:35	18:40	上弦	5/14, 6/12
6/ 1	4:26	18:53	満月	5/22, 6/20
6/15	4:24	19:00	下弦	5/29, 6/28

※上弦、下弦は半月です。

南

一年の中でも日が長い時季となり、気温も上昇して初夏の風が感じられるようになりました。日が暮れた後は春の星が見ごろとなっています。頭上高くに見えるひしゃく形の「北斗七星」から柄のカーブを伸ばしていくと、うしかい座の「アークトゥルス」とおとめ座の「スピカ」をたどることができます。この2つの1等星に、しし座のしっぽの2等星「デネボラ」を結ぶと「春の大三角」ができます。明るい星や目立つ星の並びは星座を探す時の目印になります。星たちの色の違いなどにも注目しながら、星座を見つけてみてください。

その他には惑星たちが夜空を彩っています。この時期に見られる惑星は木星、火星、土星の3つです。特におすすめなのは、5月末に地球に最接近する火星と、6月ごろにほぼ一晩中見えるようになる土星です。望遠鏡では、惑星の姿を詳しく見ることができます。火星は普段よりも大きく見え、極の氷がわかりやすくなっており、土星は環が大きく傾いた姿が印象的です。なお、月に一度の駅前観望会では望遠鏡で惑星を観察することもできます。

梅雨入りして雨の日が多くなる時季ですが、東の空からは夏の星々が見え始め、夏の気配が感じられます。晴れた日にはぜひ星たちの姿を探してみてください。

